

(別紙5)

整理番号 2021P-115  
補助事業名 2021年度 障がいのある人が幸せに暮らせる社会を創る活動 補助事業  
補助事業者名 一般社団法人 日本自閉症協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

自閉症スペクトラム（以下ASD）の方は、その障害特性により日常生活においてしばしば困難な出来事に直面することがある。予期していない出来事に対して大きな不安を感じることや、他の人とのコミュニケーションに困難を抱えること等が障害特性の一例としてあげられる。また、知的障害を伴う方もおり、発語が困難なケースや身辺自立ができず、家族や支援者等のサポートが必要な方もいる。多種多様な障害特性があり、人によって異なるため、周囲から理解されず、日常生活・地域生活において親子ともに孤立してしまうケースがみられる。

本事業では、ASDの人や家族がASDに関する情報を獲得する場を提供するとともに、当事者同士や親同士、あるいは医師や相談員等の支援者の助言や協力を受けながら、ASDの方の社会スキルの向上や地域の協力者の増加を目指し、ASDの人や家族が地域生活を将来にわたり安心して過ごせるような社会を創ることを目的として実施する。

(2) 実施内容

ASDの人の地域生活を豊かにする学習相談事業

(URL) <http://www.autism.or.jp/report05/keirin/2021jka.pdf>



ASDの人や家族、支援者等を対象とした学習相談会を全国5か所で開催した。ASDの人や家族が抱える困りごとは子供の年齢や地域、障害特性によって多種多様であり、

(別紙5)

開催地域の自閉症協会内に実行委員会を立ち上げ、地域のニーズを十分に検討した上で、講演会のテーマ設定を行った。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、オンラインでの開催とし、医師や教師等の専門家の講師による講演会と具体的な困りごとに対して助言や意見交換を行う相談会の二本立てを基本として事業を実施した。

ASDの子どもと家族のための集団指導キャンプ事業

(URL) <http://www.autism.or.jp/report05/keirin/2021jka.pdf>



ASDの子どもと家族を対象とした集団指導キャンプを兵庫県にて開催した。ASDの子どもは、1泊2日の集団生活の中で医師等の支援の専門家による療育プログラムに参加し、障害特性のため苦手とする対人コミュニケーション等の社会スキルの向上や集団で生活することの経験を積んだ。また、ASDの子どもを持つ親は、講演会を通してASDに関する理解を深めるとともに、他の参加者や医師等の講師との交流を図り、地域で協力していく体制の整備を行った。

2 予想される実施効果

ASDの人の地域生活を豊かにする学習相談事業

ASDの人や家族が抱えている困りごとや不安に対して、講師による講演会を通して必要となる情報を提供し、質疑応答で個別の課題に対して対応を行ったことで、地域で生活するASDの人や家族の不安を軽減し、今後の将来に向けて前向きに考える一助となったことが効果としてあげられる。

ASDの子どもと家族のための集団指導キャンプ事業

新型コロナウイルスの影響を受け、コロナ前のルーティンをこなすことができず、本人の不安が高い中で在宅でASDの子どもをみていた親が、参加者との交流を深めて、キャンプ後の生活においても連絡を取り合いながら協力しているとの情報もあり、今後日常生活を孤立せず前向きにおくることができるようになる点が効果としてあげられる。

またASDの子どもにとっては、集団生活や療育プログラムを通して、社会スキルの向上を図り、今後の日常生活や社会生活で活かすことができると考える。

(別紙5)

3 補助事業に係わる成果物

- (1) 補助事業により作成したもの  
特になし。
- (2) (1) 以外で当事業において作成したもの  
特になし。

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 一般社団法人日本自閉症協会  
(イッパンシャダンハウジンニホンジヘイショウキョウカイ)

住 所： 〒104-0044  
東京都中央区明石町6-22 築地ニッコンビル6F

代 表 者： 会長 市川宏伸 (イチカワヒロノブ)

担 当 部 署： 日本自閉症協会 事務局 (ニホンジヘイショウキョウカイジムキョク)

担 当 者 名： 陳野 功 (ジンノ コウ)

電 話 番 号： 03-3545-3380

F A X： 03-3545-3381

E - m a i l： [asj@autism.or.jp](mailto:asj@autism.or.jp)

U R L： <http://www.autism.or.jp/>